

観測名: **ロングイヤビンにおけるオーロラスペクトログラフを用いた  
オーロラ・大気光の分光観測**

観測主任研究者: 小川 泰信  
所属: 国立極地研究所  
住所: 〒190-8518 東京都立川市緑町 10-3  
電話: 042-512-0664 FAX: E-mail: [yogawa@nipr.ac.jp](mailto:yogawa@nipr.ac.jp)

研究計画名: EISCAT レーダーならびに地上拠点観測に基づく北極圏超高層・中層大気の国際共同研究  
研究代表者: 宮岡 宏  
研究計画期間: 2010 ~ 2015 年  
所属研究機関: 国立極地研究所  
研究参加国: ノルウェー  
国外共同研究機関・研究者: UNIS, F. Sigernes

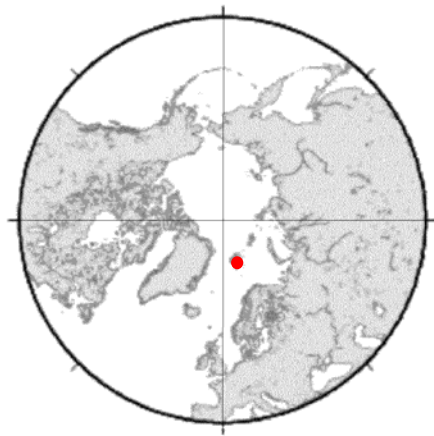
平成 25 年度の観測計画

観測地: ロングイヤビン・スパールバル  
緯度経度: 北緯 78 度 08 分 52.8 秒, 東経 16 度 02 分 34.8 秒, 標高 520m  
観測期間: 10-3 月(暗夜連続観測)  
観測手段: オーロラスペクトログラフ  
観測目的: 時間的に激しく変動するオーロラや微弱な大気光のスペクトル観測により、極冠域オーロラやカस्प域の昼間オーロラのスペクトルの空間的構造、イオンダイナミクス、中性大気温度などについて重要な知見を得る。  
実施概要: オーロラスペクトログラフは、魚眼レンズ(F1.4, f=6 mm)を対物レンズとし、子午面を投影するスリット、コリメーター光学系、600 本/mm のグリズム、撮像光学系および冷却 CCD カメラから構成される。180 度の視野角、420-730 nm の波長範囲、1 nm の波長分解能、および 600 nm で 0.06 counts/R/sec/pixel の感度をもつ。これによりオーロラや微弱な大気光のスペクトルを、広い波長領域かつ広い空間にわたり、現在 2 分の時間分解能で観測する。  
観測参加者(所属): 宮岡宏(極地研)、門倉昭(極地研)、坂野井健(東北大理)、田口真(立教大理)、鈴木臣(名大 STEL)

前年度の観測概要

観測地: ロングイヤビン・スパールバル  
観測期間: 10-3 月(暗夜連続観測)  
観測手段: オーロラスペクトログラフ  
観測概要: 観測用ソフトウェアの不具合を改善し、2012 年 10 月から 2013 年 3 月にかけてオーロラ分光観測データを取得した。  
観測参加者数: 3

観測地



備考: